

## 趣 意 書

平成 29 年 12 月 4 日

山形県災害リハビリテーション  
推進協議会（やまがた JRAT）

本部長 高木理彰

山形大学医学部附属病院

整形外科主任教授/リハビリ部部長

謹啓

時下、皆様方におかれましては、益々御清栄のことと拝察申し上げます。  
さて、2011年3月11日に東日本大震災が発生し、7年近くが経過致します。この大震災を契機に災害リハビリ支援を目的とした「日本大震災リハ支援関連10団体」が立ち上がり、2013年7月に「大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会 Japan Disaster Rehabilitation Assistance Team (JRAT)」と名称が変更され、13のリハビリ関連団体で構成されるようになり、厚生労働省もオブザーバーとして参加するようになりました。JRATが現在も掲げている課題に地域 JRAT（都道府県単位）の全国組織化があり、山形県でも2014年に第1回災害リハコーディネーター委員会、2016年5月に当院にて第1回やまがた JRAT 準備会をそれぞれ開催し、同年7月に山形県医師会・山形県歯科医師会・山形県看護協会・山形県薬剤師会主催で行政（山形県）も参加する「災害等の救急・救護活動に関する医療関係団体打合せ」に準備会の事務局長である当院リハ部主任の村川美幸先生と委員の小林真司先生（至誠堂総合病院リハ科部長）が参加し、「やまがた JRAT の組織化」の概要について説明し、理解と協力の依頼を致しております。

一方、JRATはいくつかの地域 JRAT をまとめ、ブロック単位での組織化も推進しており、山形県は「北海道・東北・新潟ブロック」に組み込まれており、定期的な連絡協議会を開催し、情報共有を行っています。現在、組織化された地域 JRAT は北海道（DoRAT）、岩手県（いわて JRAT）、新潟県（JRAT 新潟）、宮城県（JRAT MIYAGI）の1道3県で山形県においても早期の組織化を目指しており、準備会の面々と準備を進めて参りました。

貴施設内での業務が多忙である中の御依頼で誠に恐縮に存じますが本協議会の意義を御理解いただき、別紙参加/登録の御依頼を参照の上、御協力を賜りたくお願い申し上げます。

謹白